大山　大輔（バリトン）

Daisuke Ohyama　(Baritone)

（80文字）

井上道義×野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎など、独自性の強い作品で主役として圧倒的な存在感を示している。また役者としても演劇作品へ出演するなど幅広く活躍。

（150文字）

“井上道義×野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎や、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、など独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。

また役者として演劇作品への出演や、劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》ではタイトルロールとして客演するなど幅広く活躍。

（230文字）

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。“井上道義×野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎や、佐渡裕指揮《メリー・ウィドウ》のダニロ、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、など独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。また役者として演劇作品への出演や、劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》ではタイトルロールとして客演するなど幅広く活躍。洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師、カクシンハン・スタジオ（演劇研修所）講師。

（300文字）

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。佐渡裕プロデュース兵庫県立芸術文化センター《メリー・ウィドウ》ダニロ、“井上道義×野田秀樹”《フィガロの結婚》フィガ郎、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、バーンスタイン《ミサ》セレブラントなど、主役として圧倒的な存在感を示す。役者として演劇作品への出演や、劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》では怪人役で客演するなど幅広く活躍。多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。2023年初演、日越外交関係樹立50周年記念 新作オペラ《アニオー姫》の演出・戯曲・作詞（日本語）を務めた。

（470文字）

東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。

2008年、佐渡裕芸術監督プロデュース兵庫県立芸術文化センター《メリー・ウィドウ》のダニロ役で鮮烈なデビューを飾って以降、“井上道義×野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎や、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、異彩を放つシアターピース、バーンスタイン《ミサ》でのセレブラント等、独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。

また、役者として近松門左衛門原作：音楽劇『冥途の飛脚』での忠兵衛役、三島由紀夫：近代能楽集『葵の上』若林光役、劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》でのタイトルロールとして客演するなど幅広く活躍し、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。2023年初演、日越外交関係樹立50周年記念 新作オペラ《アニオー姫》の演出・戯曲・作詞（日本語）を務めた。

洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師、カクシンハン・スタジオ（演劇研修所）講師。日本声楽アカデミー会員。

（790文字）

1982年生まれ。鹿児島県出身。

東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。学部卒業時に松田トシ賞、アカンサス音楽賞、同声会新人賞を受賞。

2008年、佐渡裕芸術監督プロデュース兵庫県立芸術文化センター《メリー・ウィドウ》のダニロ役で鮮烈なデビューを飾って以降、日生劇場オペラ《魔笛》パパゲーノ、文化庁による“本物の舞台芸術体験事業”にてフォークオペラ《うたよみざる》やまいち役での好演と活躍を続ける。

近年では特に“井上道義×野田秀樹”による《フィガロの結婚》フィガ郎や、手塚治虫原作・宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、異彩を放つシアターピース、バーンスタイン《ミサ》でのセレブラント等、独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。

2021年7月、13年ぶりの再演となった佐渡裕芸術監督プロデュース兵庫県立芸術文化センター《メリー・ウィドウ》に再びダニロ役で出演し好評を博す。

また、モーツァルト『レクイエム』をはじめ、『ハ短調ミサ』、『ヴェスペレK.321』や、ベートーヴェン『交響曲第九番』、フォーレ『レクイエム』、プッチーニ『グロリアミサ』、メンデルスゾーン『ラウダシオン』などのコンサート・ソリストとしても多数出演。

役者として、近松門左衛門原作：音楽劇『冥途の飛脚』での忠兵衛役、三島由紀夫：近代能楽集『葵の上』若林光役など多数出演。劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》ではタイトルロールとして客演するなど幅広い活躍を見せており、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。

2023年初演、日越外交関係樹立50周年記念 新作オペラ《アニオー姫》の演出・戯曲・作詞（日本語）を務めた。

洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師、カクシンハン・スタジオ（演劇研修所）講師。日本声楽アカデミー会員。

Daisuke Ohyama, Barione

Born in 1982, Daisuke Ohyama graduated from Tokyo University of the Arts winning the first prize.

After making a sensational debut in 2008, with the role of Danilo of "The Merry Widow" at Hyogo PAC, he has been engaged in many Opera productions.

One of the most acclaimed performance he made is, Figaro in a special production "Marriage of Figaro" by conductor Michiyoshi Inoue and Hideki Noda, one of Japan's most famous theatre directors.

He also showed overwhelming presence in productions such as, "Black Jack" composed by Akira Miyagawa based on a best-selling manga by Osamu Tezuka, and Celebrant of Bernstein's "Mass".

He is regularly invited as a soloist to concerts performing Baroque music and religious works such as “Requiem” “Great Mass in C minor” by Mozart and “Messa di Gloria” by Puccini, while he also has good reputation as an actor of theatre play at such as , “Aoi no Ue from Five Modern Noh plays” by Yukio Mishima and he made his appearance to the musical "The Phantom of the Opera" by Shiki Theater Company.

His unique charm, talent and wide-ranged experiences enable him to work as a script writer, narrator, or navigators too.

He has participated in Opera “Princess Anio” celebrating the 50th Anniversary of Establishment of Diplomatic Relations between Japan and Vietnam as a script-writer and director, which will have its World Premiere in Vietnam in September 2023.

Ohyama now teaches at Senzoku Gakuen college of music as well as theater studio “Kakushin han”